



環境報告ガイドライン※2018年版対照表

環境報告ガイドライン 2018 年版		ガイドライン各報告事項	本報告書	
			ページ	該当箇所
第1章 環境報告の 基礎情報	1. 環境報告の基本的要件	報告対象組織	P1	編集方針
		報告対象期間	P1	編集方針
		基準・ガイドライン等	P1	編集方針
		環境報告の全体像	P1 P60	編集方針 その他の主な公表資料
	2. 主な実績評価指標の推移	主な実績評価指標の推移	P34	環境実績データ
第2章 環境報告の 記載事項	1. 経営責任者のコミットメント	重要な環境課題への対応に関する 経営責任者のコミットメント	P2	トップコミットメント
	2. ガバナンス	事業者のガバナンス体制	P9	環境マネジメント体制
		重要な環境課題の管理責任者	P9	環境マネジメント体制
		重要な環境課題の管理における取締役会及び 経営業務執行組織の役割	P9	環境マネジメント体制
			3. ステークスホルダー エンゲージメントの状況	ステークホルダーへの対応方針
	実施したステークホルダーエンゲージメントの 概要	P9		ステークホルダーとの対話
	4. リスクマネジメント	リスクの特定、評価及び対応方法	P10	U Rのバリューチェーンにおける環境への影響範囲
		上記の方法の全社的なリスクマネジメントに おける位置付け	P11	重要な環境課題と環境配慮方針等との関係性の 整理
	5. ビジネスモデル	事業者のビジネスモデル	P5-6	価値創造 プロセス
	6. バリューチェーン マネジメント	バリューチェーンの概要	P10	U Rのバリューチェーンにおける環境への影響範囲
		グリーン調達の方針、目標・実績	P19-27	資源循環
		環境配慮製品・サービスの状況	P19-27	資源循環
	7. 長期ビジョン	長期ビジョン	P2 P7-8 P13-16	トップコミットメント U Rの環境に関する考え方 特集（U Rの地球温暖化対策計画）
		長期ビジョンの設定期間	P7-8 P13-16	U Rの環境に関する考え方 特集（U Rの地球温暖化対策計画）
		その期間を選択した理由	P7-8 P13-16	U Rの環境に関する考え方 特集（U Rの地球温暖化対策計画）
	8. 戦略	持続可能な社会の実現に向けた 事業者の事業戦略	P9	環境戦略
	9. 重要な環境課題の 特定方法	事業者が重要な環境課題を特定した際の手順	P10-11	重要な環境課題への対応
		特定した重要な環境課題のリスト	P10-11	重要な環境課題への対応
		特定した環境課題を重要であると判断した理由	P10-11	重要な環境課題への対応
		重要な環境課題のパウダリー	P10-11	重要な環境課題への対応
	10. 事業者の重要な 環境課題	取組み方針・行動計画	P10-11 P13-16	重要な環境課題への対応 特集（U Rの地球温暖化対策計画）
		実績評価指標による取組み目標と取組み実績	P7-11 P13-16 P17-34	環境マネジメント 特集（U Rの地球温暖化対策計画） 環境活動
		実績評価指標の算定方法	P13-16 P17-18 P19-27	特集（U Rの地球温暖化対策計画） 地球温暖化対策 資源循環
		実績評価指標の集計範囲	P13-16 P17-18 P19-27	特集（U Rの地球温暖化対策計画） 地球温暖化対策 資源循環
		リスク・機会による財務的影響が大きい場合は、 それらの影響額と算定方法	—	
		報告事項に独立した第三者による保証が 付与されている場合は、その保証報告書	P56	本報告書に対する有識者意見

※環境省が公表しているガイドラインで、企業等が公表する環境報告に関する報告指針を示したもの